

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	0
施設名	みなと保育園
施設所在地	東京都港区高輪1-6-9
法人名	社会福祉法人恩賜財団 東京都同胞援護

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など) 毎年  
夏野菜や冬野菜の栽培を楽しんで行なっているので、自分たちで季節によって旬となる野菜を調べ、更にどのようなことが必要なのか興味関心を深めるため。また、野菜だけではなく季節の花を知り、植物を大切に作る気持ちを高めていく。

## 2. 活動スケジュール

9月・・・冬に向けての野菜や花を調べ、みんなで話し合って何を植えるか決める。  
ホームセンターに買いに行く。  
10月・・・プランターに植える際の必要なことを調べ、みんなで話し合って決める。  
11月・・・花の観察をし、他にも冬の花は何かあるのか調べる。  
水やりをしていく中で子どもたちが疑問に思ったことをクラス全体で調べる機会を設けていく。  
12月・・・定期的に支所の地域課の方と交流があるので植物について教えてもらう。  
冬野菜を収穫し、どのように食べるか話し合って決める。

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)  
・電子黒板、プランター、土、スコップ、植物の苗・種、iPad

#### 4. 探究活動の実践

##### <活動の内容>

クラス全体で話し合いの際には電子黒板を使用し、子どもたちが疑問に思ったことや冬野菜や花について調べた。iPadで栽培や育てている植物以外について調べ、絵を描いたり、自分が知ったことや教えたいことを1枚の紙にまとめて図鑑を作った。

##### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

季節が冬になる前に調べ始めたので、散歩に行った際に「これはハボタンだね」と「お花が綺麗だね」ではなく名前を知っている花が増えた。自分で1株選んだ花を育てたことで愛着がわき、「私のお花が枯れてきたから、どうしたら元気になるかな?」や冬野菜栽培のほうれん草の育ちが悪い時も「栄養が必要なのかな?」と自分たちで何かできることはないかという考えになってきた。



#### 5. 振り返り

##### <振り返りによって得た先生の気づき>

子どもたちが感じた不思議さや疑問など保育士が調べて伝えるのではなく、一緒に調べていくことで子どもたちが一つずつ理解をしながら知識が増えていく姿を見ることが出来た。自然と疑問に思ったことがあると分からないままにせず、「調べてみよう」という言葉が聞かれるようになってきた。